

GPA制度について

本キャンパスでは成績評価制度として、GPA (Grade Point Average) 制度を導入しています。この制度の導入の趣旨は、1. キャンパスとして統一した基準を作成すること、2. 公平性に優れた基準であること、3. 国際的に通用する基準であることとし、学修の成果をGPAという客観的な数値で評価するものです。

またこの制度は、欧米の大学で採用している成績評価制度に概ね準拠しており、海外留学、海外の大学院進学、外資系企業への就職等の際に、学力を証明する指標として、海外でも通用する成績評価制度となっています。

1. 成績等の表示および成績評価基準（経済・法・文・外国語・教育学部共通）

区分	評価	GPA	成績評価基準	評価内容	(英文内容)
合格	S	4.0	100～90点	特に優れた成績を表します。	(Excellent)
	A	3.0	89～80点	優れた成績を表します。	(Good)
	B	2.0	79～70点	妥当と認められる成績を表します。	(Satisfactory)
	C	1.0	69～60点	合格と認められる最低限の成績を表します。	(Pass)
不合格	D	0.0	59点以下	合格と認められる最低限の成績に達していないことを表します。また、授業等の出席日数不足および当該授業における試験の未受験等も含まれます。	(Failure)
対象外	N	—	—	編入や留学等により他大学等で修得した科目を本学の単位として認定したことを表します。(単位認定科目)	(Credits Transferred)

2. GPAの算出方法

$$\frac{4.0 \times S \text{の修得単位数} + 3.0 \times A \text{の修得単位数} + 2.0 \times B \text{の修得単位数} + 1.0 \times C \text{の修得単位数}}{\text{卒業要件単位数における総履修登録単位数 (Dの単位数を含む)}}$$

注1.) 「N (単位認定科目)」は、計算式に含みません。

注2.) GPAは、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までの数値で表します。

注3.) 「卒業要件単位数における総履修登録単位数」には、不合格科目 (D評価) を再履修し、合格の評価を得た場合および再履修の結果、再びD評価であった場合の、それぞれ再履修前の評価については、通算のGPAには算入しません。

注4.) 「D」評価によるGPAの低下をさけるために履修科目の削除を希望する場合は、前期・後期ともに原則授業7週目にあたる期間中に、ポータルサイトを利用して履修削除を行ってください。手続き期間は掲示・ポータルサイトでお知らせします。